



TITLE:

## 2.1 京都大学環境ファクトシート： エコ〜るど京大2014(初夏の陣・冬 の陣)実施報告

AUTHOR(S):

浅利, 美鈴

---

CITATION:

浅利, 美鈴. 2.1 京都大学環境ファクトシート：エコ〜るど京大2014(初夏の陣・冬の陣)実施報告. 環境保全 2015, 29: 28-31

ISSUE DATE:

2015-03-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/197433>

RIGHT:

## 2. 環境保全業務報告

### 京都大学環境ファクトシート

#### 2.1 エコ〜るど京大 2014（初夏の陣・冬の陣） 実施報告

京都大学環境科学センター 浅利 美鈴

##### 1. はじめに

全員参加型で環境負荷を低減した持続可能なキャンパスの実現を目指す強化イベントとして、「エコ〜るど京大 2014 初夏の陣」「エコ〜るど京大 2015 冬の陣」を開催した。なお、「エコ〜るど京大」とは、エコ×世界（ワールド）からの造語であり、「Think globally, Act locally, Feel in the Campus!」のメッセージをこめると同時に、京大の中でエコを学ぶ学校（École とはフランス語で学校）を期間限定で開校する意味もこめたものである。2013 年 6 月には環境週間として実施したが、今回のような形での展開は初めてである。

★京大広報 2014 年 7 月号と 2015 年 1 月号にも掲載されています。また、写真は冒頭のカラーページでご紹介しています。

##### 2. エコ〜るど京大 2014 初夏の陣(2014 年 6 月)

環境月間である 6 月にあわせ、6 月 2 日から 30 日の 1 ヶ月間、吉田キャンパスを中心に様々な企画を展開した。

###### 2.1 キックオフ

まず 6 月 2 日には、取組のシンボルキャラクターである「くすちゃん」の T シャツを着た、学生・教職員が 100 名以上集まり、1 ヶ月間のキックオフ宣言を行った。

###### 2.2 オープンラボ

6 月 2 日から 13 日の間は、京大学生協 1F に、「京都大学で環境学を考える研究者たち」のオープンラボが出現し、気軽に研究者に話かけ、お茶やコーヒーを飲みながら語らう姿が見られた。

表 1 オープンラボに協力頂いた先生方（敬称略）

研究者	午前	午後	夕方
2 日（月）		神崎 護（農学研究科）	
3 日（火）－5 日（水）	本川 雅治（総合博物館）		
5 日（木）－6 日（金）	角山 雄一（放射性同位元素総合センター）		
9 日（月）	浅利 美鈴 ★ゲスト：高月紘名誉教授とお茶の時間		
10 日（火）	浅利 美鈴（環境科学センター）		森 晶寿（地球環境学堂）
11 日（水）－12 日（木）	磯部 洋明（宇宙総合学研究ユニット）		
13 日（金）	ベンジャミン C マクレラン（エネルギー科学研究科）		

## 2.3 エコパフォーマンス

6月9日から後半にかけては、10以上の学内サークル等によるエコ〜るど京大 PR のためのパフォーマンスが連日行われた。歌あり、ダンスあり、動物とのふれあいありと、ユニークな表現に、多くの人々が足を止めて見入った。

## 2.4 京大フリマ

折り返し日にあたる15日には、学生団体（えこみっと）が中心となりフリマを行った。学内で育てた野菜の販売やフェアトレードの発信ブースなども設けられ、人だかりができるほどの盛況ぶりであった。

## 2.5 先輩サロン、グリーンスクリーン映画祭、エココンペ

後半戦は、深く環境問題を考えたり、自らのアイデアを披露したりする企画が目白押しであった。まず、21日と28日の2日間に渡り、環境問題を考える上で一押しの映画を鑑賞するグリーンスクリーン映画祭を行った。29日と30日には、先輩サステナビリティサロンとして、約20組の院生が、自分の環境研究やアイデア等を口頭発表やビデオ作品等の形で表現した。そして30日午後には、サステナブルキャンパスを実現するためのアイデアを競うエココンペの発表・審査を行い、力が入った発表が続いた。優秀者には国内外研修や実施費用の支援を行うこととなった。

1ヶ月間、様々な企画を行うことにより、多くの人に少しずつ気づきや参加へのきっかけを与えることができた。これを継続し、エコキャンパス実現につなげねばならない。

表2 エコパフォーマンス参加団体

日	団体名	内容	注目！
9、16、23	<b>Pumpit</b>	バルーンアート	購入火はカンボジアに学校を建てるための寄付金となります！
10、24	<b>MTTR</b>	ダブルダッチ	縄とびの領域を超えた新感覚エンターテインメント！
13	<b>彩京前線</b>	よさこい	快活な演舞で笑顔満開
17、27	<b>Crazy Clef</b>	アカペラ	様々なグループのハモリに酔いしれて
19	<b>Tock'n Roll</b>	ギター弾き語り	エコ〜るどテーマ曲などを演奏♪
21	くじゃく同好会	くじゃく握手会	くじゃくと戯れるひと時を…
25	留学生's	Music	Amazing music!
26	<b>GOD 団</b>	ダンス	体現されし神曲たち☆
27	<b>プティカプリス</b>	ダンス	新体制となったプティカプリ初披露！

【その他のエコ〜るど参加・協力団体】カレー部、でこべじカフェ、SENSE

表 3 グリーンスクリーンのプログラム

21 日 10:30-12:30	21 日 14:00-16:00	28 日 10:30-12:30
<b>バレンタイン一揆</b> (2012 年・日本)	<b>もったいない！</b> (2011 年・ドイツ)	<b>フタバから遠く離れて</b> (2011 年・日本)
音声：日本語 字幕：英語	音声：独、仏、日、英、伊語 字幕：日本語	音声：日本語 字幕：英語
日本の普通の女の子 3 人が、アフリカのガーナで出会ったのは、たくさん子どもたちがカカオ農園で働かされ、学校に通うこともできない「児童労働」という現実だった。バレンタインデーに、フェアトレードでつくられた、本当に愛のあるチョコレートを、日本のみんなに選んでほしい。そんな思いを胸に、彼女たちは動き出した。イベントの名は、「バレンタイン一揆」。果たして、彼女たちの願いはみんなに届くのか。	私たちが日々食べる食品はその半分が食卓に届く前に捨てられている。生産現場、流通過程、小売販売のシステム、そして家庭でも……。日本をはじめ世界各国で、食料が辿るあらゆる段階に関わる人々や専門家の話を聞きながら、その驚愕の現実と原因、影響を目撃する。私たちが日ごろからできることを考え直させられること間違いなし。	2011 年 3 月 12 日、福島県双葉町民は 1 号機の水素爆発を耳にし『死の灰』を被った。町は全面立入禁止の警戒区域となり、1400 人が 250km 離れた埼玉県の高校へ避難。事故を元に信念を変えざるを得なくなった町長、家族も土地も失い、先の見えない避難生活を余儀なくされる町民たち……。私たちにあっては故郷とは何か、そして向かっていくべき未来は何か。

### 3. エコ〜るど京大 2015 冬の陣(2014 年 12 月)

持続可能な社会の実現に向けた「働き方」「生き方」を考える企画として、「エコ〜るど京大・冬の陣」を、12 月 8 日・9 日に京都大学百周年時計台記念館 2F 国際交流ホールにて開催した。

#### 3.1 持続可能な社会を目指す企業や団体との出会い

持続可能な社会の実現に向けては、環境や農業、社会貢献、国際課題の解決などが求められる。そこで、それらをキーワードとした 18 の企業や省庁、地方自治体、NPO 団体、学生団体等が展示ブースを出し、仕事や働き方、将来のビジョンなどについて、直接話を聞き、学べる機会を提供した。通常の就職関連イベントでは見られない情報提供、例えば就農を支援するような仕組みの紹介や国際支援にかかわる仕事へのキャリアパス、環境問題に総合的／専門的に取り組む幅広い企業、環境問題に力を入れる地方自治体なども出展した。両日に渡り、1 回生から院生、また市民らが、熱心に話を聞く場面が見られた。

#### 【参加企業・団体（順不同）】

(株)エフピコ、大阪瓦斯(株)、川崎重工業(株)※冬の陣は交流会のみ参加、国際航業(株)、(株)神鋼環境ソリューション、新日鉄住金エンジニアリング(株)、太平洋セメント(株)、DOWA ホールディングス(株)、日本たばこ産業(株)、日立造船(株)、安田産業(株)、環境省、農林水産省近畿農政局、北九州市、京都市、NPO 法人ゼロ・ウェイストアカデミー（上勝町）、JICA 関西、NPO 法人アイセック・ジャパン、京都大学思修館・社会環境デザイン受講学生プレゼンツ『私たちが見たバングラデシュのごみ問題と国際協力という生き方』ほか

#### 3.2 先輩トークセッション

同時に「先輩トークセッション」として、7 つのトークイベントを実施した。環境問題や農業の現在・過去・未来、社会貢献やソーシャルビジネスなどをテーマとしたセッションのほか、多様な働き方やキャリアパスを知る機会にするため、タレントとして活躍する紫野レイさんやフリーランスの道を選

んだ食・科学ライターのサリーさん、同じ部活出身でそれぞれの道を歩み活躍する OB らのトークも行われた。また、8 日 16:00 から 17:00 まで、「持続可能な社会の実現に向けて」をテーマに、山極寿一総長、京都市門川大作市長、京都大学工学研究科出身で日本たばこ産業(株)の新貝康司副社長によるトップ鼎談が行われ、それぞれの若い日の写真なども公開しながらのトークに大変盛り上がった。いずれも、質疑の時間には、働き方や進路選択、起業等を考える学生の熱心な質問が寄せられ、充実したセッションとなった。【詳細は、3.4 に掲載しています】

### 3.3 交流パーティー

イベントの最後には、社会人と学生の混成チームでゲームをしながら交流するパーティーを開催した。学生団体らによるオリジナル料理も提供され、楽しく美味しい時間となった。

2 日間、様々な企業・団体・登壇者（先輩方）を迎え、多様な働き方への気づきを与え、知識を共有することができた。

### 3.4 冬の陣全プログラム

【12 月 8 日（月）】

10:30-10:40 ご挨拶 京都大学理事 佐藤直樹

#### ① 10:40-12:00 環境ビジネスの現在・過去・未来 ～学者・漫画家、行政の立場から～

基調講演：京都大学名誉教授（環境漫画家） 高月紘  
事例紹介：北九州市環境局総務課 今村孝

京都市環境政策局 馬場保行

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 重松賢行

講評：京都大学環境科学センター長 酒井伸一

#### ○ 12:00-13:00 ランチミーティング

柳月堂の焼き立てパンを頬張りながらブース出展者のプレゼンを。

#### ② 13:00-14:30 社会貢献を仕事にする ～ソーシャルビジネスの現場から～

基調講演：京都産業大学准教授 大室悦賀

パネル：(株) サステナ 代表 マエキタ ミヤコ

NPO 法人寺子屋プロジェクト 代表 荒木勇輝

#### ③ 14:45-15:45 外れる勇気～京大⇒アイドル⇒～

トーク：タレント 紫野レイ（京都大学経済学研究科卒）

#### ④ 16:00-17:00 特別企画・トップ鼎談

「持続可能な社会の実現に向けて」(仮)

京都大学総長 山極寿一

京都市市長 門川大作

日本たばこ産業株式会社 代表取締役副社長 新貝康司（京都大学工学研究科卒）

#### ○ 17:00-18:30 ブース交流会

【12 月 9 日（火）】

#### ⑤ 10:30-12:00 農業の現在・過去・未来

～経営力&女子パワーが切り開く～

基調講演：農林水産省大臣官房政策課 近藤昭夫

パネル：農事組合法人日本海牧場代表 山崎高雄

みのり農園 高橋佳奈（農業女子）

(株)キシユウ 代表取締役社長 前木秀光

#### ⑥ 13:00-14:30 京大 OB トークセッション

～オケ仲間が別々の職を選ぶまで～

ヤマハ(株) 剣持秀紀（京都大学工学研究科卒）

※ボーカロイド生みの親

京都大学工学研究科教授 白石誠司

京都大学農学研究科准教授 上高原浩

#### ⑦ 14:45-16:15 フリーランスを選んだわけ

～科学を楽しむ！を伝えたい～

おいしい科学研究者 食・科学ライター サリー（京都大学農学部研究科卒）

京都高度技術研究所 ASTEM 理事長・京都市産業技術研究所所長 京都大学名誉教授 西本清一

#### ⑧ 18:00-20:00 交流パーティー